

Ⅲ 令和8年度重点施策

◆令和8年度においては、特に重点的に取り組んでいく5つの重点施策を掲げ、喫緊の教育課題等の克服や教育環境のさらなる充実に向け、積極的な施策展開を図ります。

1 「やまぐちPRIDE」の醸成

少子化の進行や、若者の県外流出により、地域の担い手不足が深刻化する中、郷土への誇りと愛着を一層育み、本県の未来に貢献したいという気持ちを持つ児童生徒を「ふるさと山口の創り手」として育成していくことが、ますます重要となっています。

このため、児童生徒がふるさと山口を大切にすることを、主体的に地域づくりに参画しようとする心意気を「やまぐちPRIDE」という合言葉で表し、キャリア教育と地域連携教育を一体的に推進することにより、地域との関わりの中で、自己の在り方や生き方を考えさせる教育活動に取り組みます。

2 県立高校の特色化・魅力化の推進

国は2040年の社会状況を見据えた高校教育改革に関する基本方針を策定するとともに、産業イノベーション人材の育成等に資する高等学校教育改革を推進するため、都道府県に対して支援措置を講じることとしており、本県においても国の支援を継続的に活用できるよう、令和7年度3月県議会において、「山口県公立高等学校教育改革促進基金」を設置することとしたところです。

令和8年度は、本県における高等学校教育改革実行計画を策定し、計画に沿った取組を着実に実行するとともに、教育内容の充実や施設整備を推進し、県立高校の教育活動・教育環境を充実させ、特色化・魅力化を図ります。

3 いじめ・不登校等対策の一層の強化

いじめの認知件数や不登校児童生徒数は全国同様増加傾向にあり、いじめ・不登校等への対応は重要な課題となっています。

このため、未然防止、早期発見・早期対応に向けた組織的な取組を充実させるとともに、不登校児童生徒に対し、段階的な教室復帰に向けた学びの場を確保するなど、誰一人取り残されない学校づくりを推進します。

4 「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進

社会のデジタル化やAI技術の急速な進展等を踏まえ、本県が策定した「やまぐちスマートスクール構想2.0」に基づき、1人1台タブレット端末などのデジタル学習基盤やAI技術を効果的に活用し、子ども一人ひとりの可能性を最大限に引き出します。

5 質の高い教育環境づくりの推進

本県教育を支える教員の確保に向けた取組を充実させるとともに、中学校卒業生数の継続的な減少が見込まれる中、学校・学科の再編整備等に対応するため必要となる施設の整備と老朽化対策に一体的に取り組むことで、質の高い教育環境づくりを推進します。

1 「やまぐち PRIDE」の醸成

新 あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業

12,039 千円

ふるさと山口の地域づくりに主体的に参画しようとする人材を育成するため、小・中・高・地域産業等の連携・協働体制を構築し、「やまぐちPRIDE」を合言葉に、地域との関わりの中でキャリア教育を促進します。

■ 小・中学校と県立高等学校、地域産業等が一体的に連携・協働した取組の推進

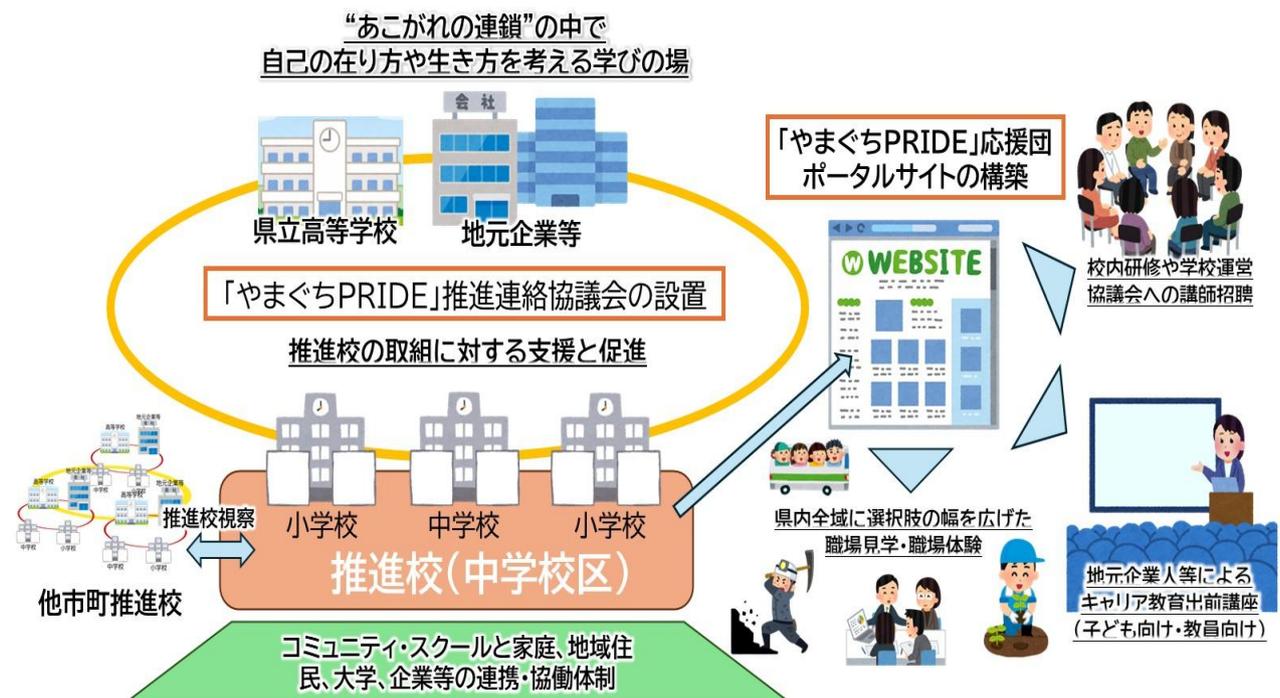
- 推進校を中心に、県立高等学校や地域産業等と連携・協働する探究的な教育活動を支援
 - [推進校] 計 14 校程度（公立の小学校または中学校）
 - [内 容] 小・中学生と、高校生や大人が共に探究的に学ぶ実践研究
 - [テーマ例] 子ども主体で「学校・地域連携カリキュラム」の更新・改善を図った実践研究
キャリア・パスポートの効果的な活用に係る実践研究 等
- 自己の在り方や生き方を考える機会の充実
 - ・ 推進校における職業講話やキャリア教育講座の実施
- 圏域を越えた他推進校の研修会への参加機会の創出等、教員の資質向上に資する取組を実施
 - ・ 他市町の推進校（区）への視察やその推進校（区）の研修会への参加

■ 賛同協力企業等の情報や推進校の好事例を一元的に管理するポータルサイトの構築

- 県内の地域産業等の情報（事業所概要や職場体験、職業講話等に関する情報）や推進校の取組事例を掲載し、各学校の取組を推進
 - [内 容] 職場見学や職場体験、職業講話等に協力できる企業等の紹介
推進校の取組の紹介

■ キャリア教育推進連絡協議会の設置

- 学校関係や産業界等の県内キャリア教育関係者による協議会を開催し、「やまぐちPRIDE」の醸成に関する取組について検討



「やまぐちPRIDE」の醸成に向け、地域・社会の多様な人々とつながり、協働することを通じて、次代を創る子どもたちのふるさと山口への誇りと愛着を高め、豊かな人生を主体的に切り拓いていく「地域の創り手」を育みます。

■ 子どもが「地域の創り手」プロジェクト

- 子どもが主体的に地域課題の解決に参画し、ふるさと山口の未来に向けた提案を行う取組を促進
- [対象モデル中学校区] 7地区×1中学校区
- [取組例] 子どもによる「“住み続けたい”まちづくり計画」の策定
ふるさとの伝統文化を生かした子ども主体の地域おこし

■ 高校生等によるやまぐちリブランディング事業

- 高校生等が主体となって、地域の魅力や強みを再発見・再構築し、社会実装をめざす取組を推進
- [対象] 県立高等学校・中等教育学校・特別支援学校（3年間で全ての学校を対象）
- [取組例] RESASを活用した地域経済活性化プランの立案
地域資源を活用した新商品開発による持続可能な地域づくり

■ 学校は学びのフィールド推進事業

- 学校をフィールドとした、大人と子どもがつながり、学び合う活動を促進
- [委託先] 社会教育団体、社会教育施設等
- [取組例] 学校の授業への大人の参加（子どもとともに学び直し）
学校の余裕教室を活用した中学生による高齢者向けSNS講座

■ 「地域連携教育次世代型ネットワーク」構築事業

- 県内各エリアに企業・大学・自治体等と連携・協働するための「地域連携教育プラットフォーム」を構築するとともに、「地域連携教育プラットフォームマネージャー」を配置
- CSチーフ、CSサポーター、地域学校協働活動推進員等に加え、地域連携教育プラットフォームマネージャーが連携した、「地域連携教育次世代型サポートチーム」を設置

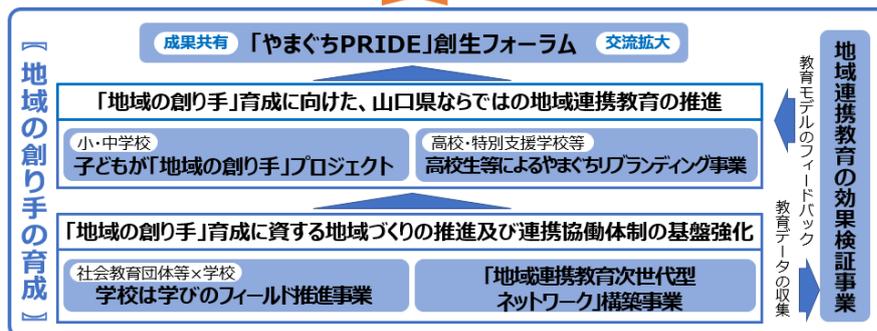
■ 「やまぐちPRIDE」創生フォーラム

- 「やまぐちPRIDE」の醸成に向けた取組の成果を共有するとともに、交流を拡大
- [対象] 地域住民、児童生徒、教職員、保護者等
- [内容] 児童生徒による取組の成果発表、子どもと大人の交流企画 等

■ 地域連携教育の効果検証事業

- 「やまぐちPRIDE」醸成に向けた地域連携教育の効果を専門家の知見や学術的な考察に基づいて実証的に検証し、新たな地域連携教育のモデルを構築

「やまぐちPRIDE」の醸成



専門高校の学科特性を活かした課題解決型学習（PBL）を推進するとともに、小・中学生や保護者等に対して専門高校の魅力を積極的に発信することで、進路意識の醸成及び専門高校の更なる魅力向上を図ります。

■ 企業から学ぶ！ローカル×テック探究プロジェクト

- 地元企業との連携による課題解決型学習（PBL）の推進
 - ・ 地元企業の伴走支援による年間を通じた課題解決型学習（PBL）を実施し、専門高校における探究的・実践的な学びを充実

■ 専門高校プロモーションプロジェクト

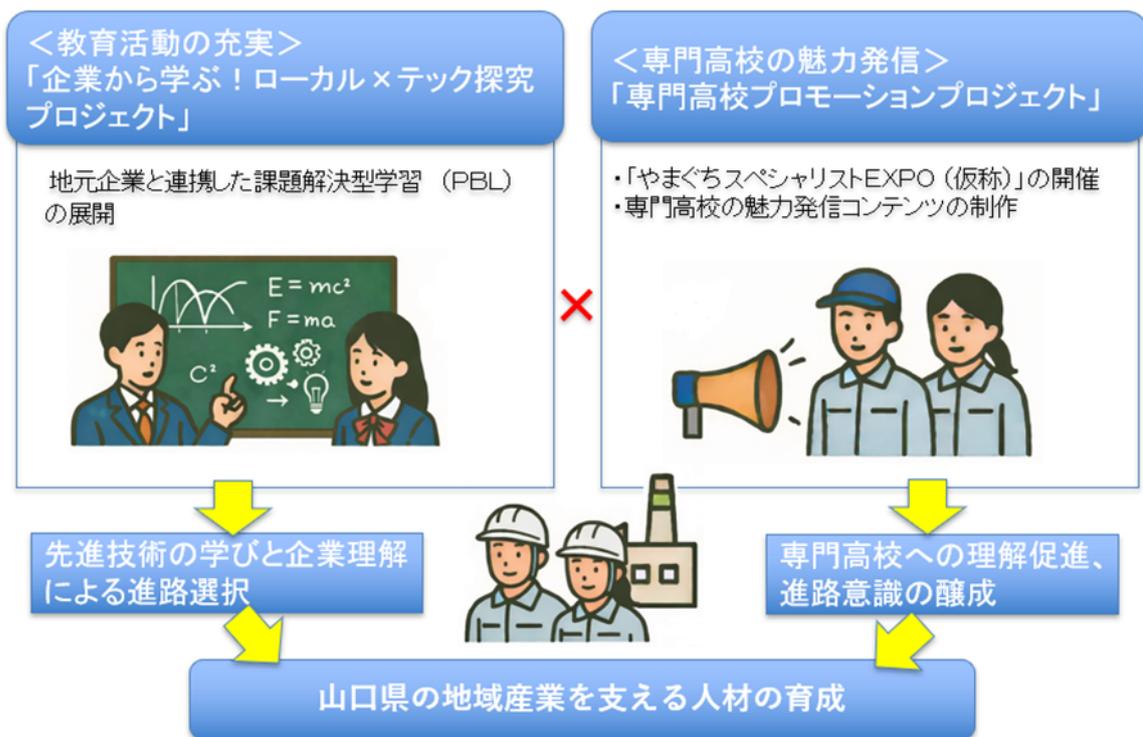
- やまぐちスペシャリストEXPO（仮称）の開催
 - ・ 県内の専門高校が一堂に会し、各校の特色ある学科・活動内容の紹介や、地元企業と連携した展示・体験ブースを設けるイベントを開催

[対 象] 小・中学生及び保護者 等
 [日 時] 11月下旬開催（予定）
 [開催場所] 維新大晃アリーナ（予定）



【EXPOイメージ】

- 魅力発信コンテンツの制作
 - ・ 専門高校ならではの実践的な学びや進路面での強み等、県内の専門高校を横断的に紹介するパンフレットや専用ホームページを制作



「ガイダンスの充実」と「マッチングの促進」に重点を置き、入学後の早い段階から生徒に寄り添った伴走型の就職支援を行うことで、高校生の主体的な県内就職・県内定住を促進します。

■ 高校生キャリアデザイン支援事業

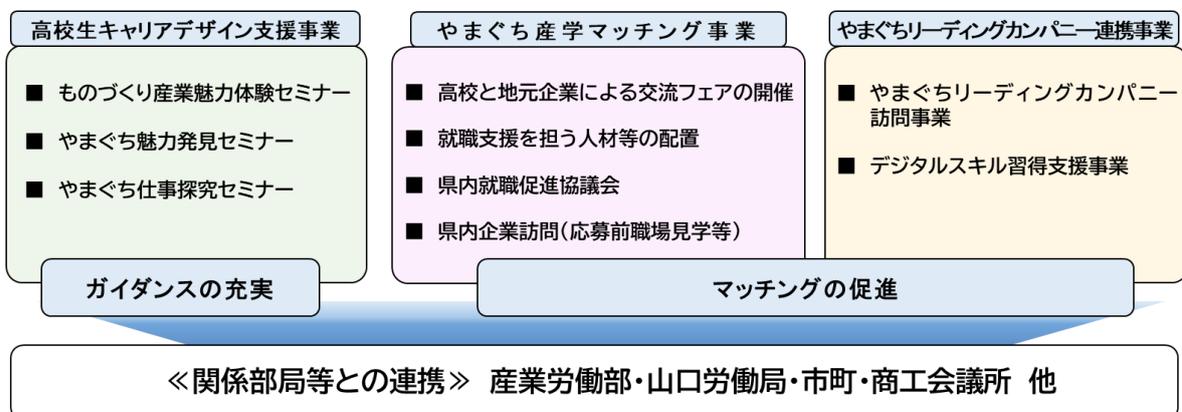
- 県内産業や山口県の魅力の理解促進、県内就職・県内定住に向けた意識の醸成
 - ・ 県内企業の技術者等による、ものづくりの仕組みや企業がもつ優れた技術についての講義及び演習の実施
 - ・ ライフプランニングや社会人として求められる資質等について考えるワークショップの開催
 - ・ 就業への円滑な移行を図るための労働法制等に関するガイダンスの開催

■ やまぐち産学マッチング事業

- 生徒の適切な職業選択と県内中小企業とのマッチングを促進
 - ・ 高校が立地する地元の中小企業を学校に招聘し、高校生と企業の採用担当者等が直接交流する機会を創出
 - ・ 就職支援を担う人材等を配置し、1年時から、キャリアデザイン及び就職に向けた個別相談・マッチングまでを生徒の希望・適性に沿って伴走支援

■ やまぐちリーディングカンパニー連携事業

- DXを推進している企業や各産業分野で主導的な地位にある企業と連携した企業見学・実習を推進
 - ・ DXに関する取組や働き方改革を推進している企業への訪問等の実施
 - ・ 産業界のDXの進展に伴い必要となる知識・技術の習得に向けた講習会の開催及び企業や学校の施設・設備を活用した実習の実施



就職を希望する生徒の進路実現
(生徒の主体的な県内就職・県内定住の促進)



【ものづくり産業魅力体験セミナー】



【新社会人スタートアップ研修】

2 県立高校の特色化・魅力化の推進

新 山口県公立高等学校教育改革促進基金積立金

R7 補正：60,000 千円

国の「高校教育改革に関する基本方針」に沿って、教育改革を先導するパイロットケースとなるよう、産業人材等の育成に向けた高校づくりの財源として、「高等学校等教育改革促進事業費補助金」を活用した基金を設置することとし、先行して事業実施体制の構築等に係る経費を造成するとともに、適切な管理運用を行います。

■ 高等学校教育改革促進事業

次の3類型に対応した高等学校教育改革を先導する拠点校のパイロットケースを創出し、取組・成果を県内の高等学校等に普及する。

○ アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成

地域創生を支える核となる専門学科等の機能強化・高度化を図り、アドバンスト・エッセンシャルワーカーなどの産業イノベーション人材を育成する。

○ 理数系人材育成

先進的な新たな知を生み出す力を育成するため、理数的素養を身に付けつつ、自ら問いを立て、解決する研究を行う高等教育を見据えた文理融合の学びを実現する。

○ 多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

全国どこにいても多様な学びが保障されるよう、人口減少地域においても地域の実情や生徒の学習ニーズ等に応じた魅力ある学びの選択肢を増やすため、地域の教育資源を生かした学びや遠隔授業を活用した学びの提供を実現する。

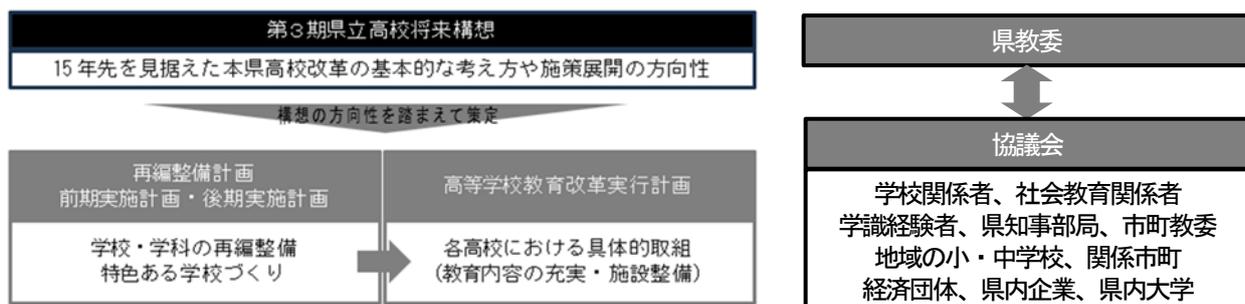
新 高等学校教育改革実行計画策定経費

1,807 千円

公立高校における教育活動・教育環境の更なる充実に向け、国の「高校教育改革に関する基本方針」を踏まえた、「高等学校教育改革実行計画」を策定します。

■ 高等学校教育改革実行計画の策定

- いわゆる高校無償化など、公立高校を取り巻く状況が大きく変化する中、公立高校の教育活動・教育環境を充実させ、更なる魅力ある学校づくりを進めるため、国の「高校教育改革に関する基本方針」を踏まえた、「高等学校教育改革実行計画」を策定
- 策定にあたっては、「第3期県立高校将来構想」及び「県立高校再編整備計画（前期・後期）実施計画」の方向性も踏まえた上で、外部の有識者等で構成する協議会において内容を検討



DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業

10,000 千円

新たな価値を創造する人材の育成に向け、ICT・AI等を活用し、文理横断的・探究的な学習の高度化を図り、その取組・成果を広く県内に発信・横展開することで、探究的な学習活動を推進します。

■ 教員研修・生徒対象講座

- 文理横断的・探究的な学習の推進を担う教員を育成する研修等の実施
- 生徒の探究基礎力・推進力を向上させるために、ICT・AI等の活用講座を実施

■ 学校における探究学習への支援

- 専門人材を活用し、探究的な学習の質を向上させる取組を計画・実施する学校の取組について支援

■ 成果の共有と波及

- 他校の生徒との交流による個々の生徒の研究の充実や学習内容の深化及び県内全域的な成果の波及

■ 成果の可視化

- 調査・分析・フィードバックにより学習成果を可視化



やまぐち高大パートナーシップ強化事業

4,011 千円

高校と県内大学との連携を一層強めることにより、県内大学の学部・学科等の理解につなげ、主体的な進路選択による県内大学への進学意識の向上を図り、若者の県内定着を促進します。

■ 高校と県内大学の年間を通じて連携した教育活動の実施

- 高校と県内大学との定期的な連携により、県内大学への主体的な進路選択を促進

[対 象] 県立高校等

[内 容]

《高大パートナーシップ授業》

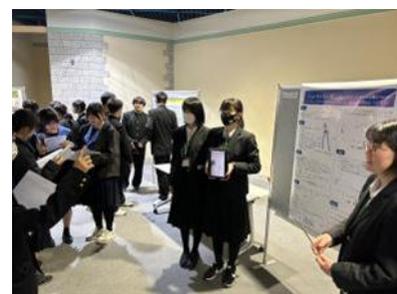
- ・ 県立学校と県内大学が連携し、高校が設定したテーマに基づく授業を、年3回程度実施

《地域医療探究プログラム》

- ・ 山口大学医学部等と連携し、地域医療に関するプログラムを実施

《新たな学び創出コンペティション》

- ・ 大学での学びに必要な課題発見・解決能力の育成に向け、県内大学等と連携した内容や研究成果等について発表・協議する大会を開催



県立高校の空調整備の早期完了に向け、恒常的に使用する特別教室の整備を前倒して実施します。

拡 県立高校の空調整備

[対象校] 全県立高校

[整備内容] 特別教室の空調新設

[早期整備対象] 恒常的に使用する特別教室であり、他教室で代替できない教室

(例) 理科・美術等の専門教科教室、工業・農業等の専門実習室

《空調整備事例》



《恒常的に使用する特別教室の空調設置率》
(R8.3月見込み)

学校区分	普通教室	特別教室
高等学校	100%	52.3%
総合支援学校	100%	100%

県立学校施設等のトイレ洋式化（総務部一括計上）

ライフスタイルの変化への対応や良質な教育環境を確保するため、県立学校や社会教育施設のトイレの洋式化を進めます。

■ 県立学校施設等のトイレ洋式化

[対象施設] 県立学校、山口図書館

[整備内容] 和式便器の洋式化（暖房便座、温水洗浄機能付き）、トイレブースの改修 等

■ 洋式化における基本的な考え方

- 原則、既設の和式便器を洋式化
- 一部に和式を望む意見があることから一定数の和式便器を残置

《洋式化のイメージ》



《バリアフリートイレの整備例》



【参考】トイレ洋式化率 (R7.4月現在)

分類	トイレ洋式化率 (概数)
高等学校	50%
総合支援学校	83%
博物館	50%
図書館	71%
青少年自然の家	52%

「第3期県立高校将来構想」を踏まえた、学校・学科の再編に必要な施設整備を計画的に推進します。

拡 「第3期県立高校将来構想」に基づく施設整備

- 新たな柳井高校と田布施農工高校における学科の設置に係る継続した施設整備
- 中高一貫教育校となる岩国高校と下関西高校における継続した施設整備 等



県立学校施設整備事業

より質の高い高校教育を提供するための学校・学科の再編整備や児童生徒の増加に伴う総合支援学校の教室不足に対応するために必要な施設整備を進めるとともに、安全で快適な学習環境を整備するため、施設の長寿命化・老朽化対策や非構造部材の耐震対策等を実施します。

■ 質の高い魅力ある教育環境の整備

- 高校再編整備
 - ・ 「第3期県立高校将来構想」に基づく学校・学科の再編整備や、併設中学校設置に必要な施設整備を実施
- 総合支援学校における教室不足対策等
 - ・ 児童生徒の増加に伴う施設狭隘化解消や職業教育の充実に向け、必要な施設整備等を実施
- 空調設備整備
 - ・ 良好な教育環境を確保するため特別教室に空調設備を整備

■ 安心・安全な教育環境の整備

- 長寿命化・老朽化対策
 - ・ 老朽化施設の建替整備や非構造部材の耐震対策等の実施
- 非構造部材の耐震対策
 - ・ 定期点検結果等を踏まえ、外壁等の非構造部材の落下防止対策工事等を実施
- その他
 - ・ 法面危険箇所改修、多目的トイレの整備等を実施

区 分	予算額	摘 要
質の高い魅力ある教育環境の整備		
高校再編整備	3,973,448	柳井、田布施農工ほか
総合支援学校教室不足対策等	103,477	防府総支、豊浦総支ほか
空調設備整備(早期整備含む)	383,732	県立高校等
安心・安全な教育環境の整備		
長寿命化・老朽化対策	4,618,087 (再掲3,578,099)	岩国工業、南陽工業ほか
非構造部材の耐震対策	634,092 (再掲628,606)	萩総支、岩国総合ほか
その他	235,793	岩国工業、下関南総支ほか

3 いじめ・不登校等対策の一層の強化

誰一人取り残されないいじめ不登校対策事業

222,425千円

いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に向け、アウトリーチ型の相談支援の実施等により、様々な困難を抱える全ての児童生徒が安心して学ぶことのできる学校づくりを推進します。

■ アウトリーチ型支援による教育相談体制の充実

- 専門家による教育相談体制の充実
 - ・ 全中学校区及び全県立学校へのスクールカウンセラー（SC）の配置
 - ・ スクールソーシャルワーカー（SSW）による児童生徒・家庭への支援
 - ・ 県のSSWをスーパーバイザーとして位置付け、市町のSSWの取組を支援
 - ・ 全公立学校でSCによる「心理教育プログラム」等の心の教育の実施
 - ・ 小学校の就学時健診等へのSCの派遣
- 「心の健康観察アプリ」による児童生徒の心の健康状態の把握
 - ・ 全ての県立学校で1人1台タブレット端末を活用した心の健康観察の実施
- 生徒指導や教育相談に関する教職員研修の実施
 - ・ 多様化・複雑化するいじめや不登校に関する研修会の実施 等

■ 不登校等児童生徒に対する校内の居場所づくり

- 市町が設置する校内教育支援センターの設置促進
 - ・ 教室に入りづらい子どもの居場所づくりに向け、小中学校に「校内教育支援センター」を設置する市町に対し、相談支援等を行う人材の配置に係る支援

■ 組織的対応を支える取組の推進

- 緊急時等の学校への支援
 - ・ 重大事態等に対してSC、SSW等の専門家の派遣による、心のケア・早期復帰の支援
 - ・ SC、SSW等の専門家の資質の向上及び連携の強化に向けた合同研修会の実施
 - ・ 「いじめ対策マイスター（警察OB）」や「学校問題解決支援コーディネーター（学校管理職OB）」を県教委内に配置し、学校に派遣するなどの伴走型の支援 等
- 法に基づく県のいじめ対策組織の運営
 - ・ 「山口県いじめ問題対策協議会」の開催、「山口県いじめ問題調査委員会」の運営

中学校及び高校0年生からの教育相談事業

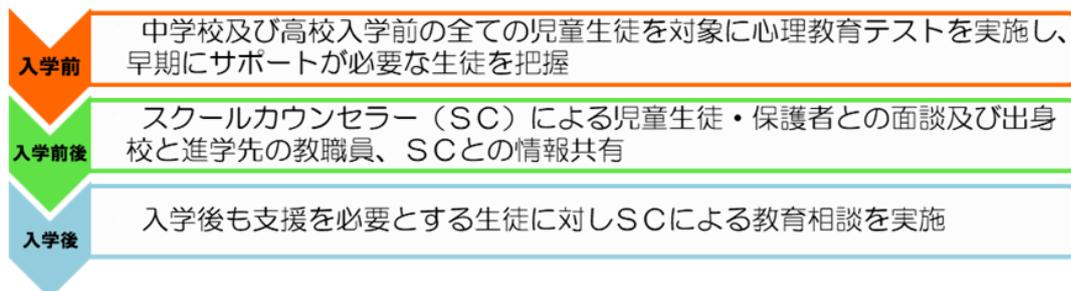
34,038千円

中学校及び高校の入学前後の児童生徒に対し、心理教育テストや教育相談を実施するなど、切れ目のない支援体制により、いじめや不登校等の未然防止を図ります。

■ 切れ目のない教育相談体制

[対象] 公立中学校及び公立高校入学前の児童生徒

[支援イメージ]



【拡】 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化

給与費

在籍する学級での学習や集団での生活が困難となった児童生徒のための教室「ステップアップルーム」に、指導経験豊富な専属教員（サポート教員）を配置します。

【拡】 ステップアップルーム設置校の拡大

- ステップアップルームを中学校に加え新たに小学校に設置し、学びの場の確保及び教室復帰に向けた支援を充実 《小学校》新規設置 《中学校》R7：35校⇒R8：増設

【拡】 サポート教員アドバイザーの拡充

- サポート教員への指導・助言や校内教育支援センターにおける不登校支援等を行うアドバイザーを配置 R7：1人⇒R8：2人

■ 不登校等児童生徒への支援の充実に向けた会議の運営

- サポート教員や市町教育委員会等を対象に、不登校対策の取組やステップアップルームにおける取組・支援について具体的な方策等を検討するための連絡会議の実施

【拡】 スクールソーシャルワーカー（SSW）による支援体制の強化

給与費

困難な問題を抱える児童生徒の環境への働きかけや関係機関との連携・調整を図るとともに、市町配置のSSWへの指導・援助を行います。

【拡】 県のスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置拡充

- やまぐち総合教育支援センターに正規雇用（常勤）のSSWを1人増員し、5人体制（正規職員2人、会計年度任用職員3人）で県立学校及びその児童生徒・保護者への継続した支援や緊急時の迅速な対応を実施
- 県のSSWをスーパーバイザーとして位置付け、市町配置のSSWの取組を支援する体制を強化

法務相談等の支援強化に向けたスクールロイヤーの配置

6,499千円

学校におけるいじめ対応など法務の専門家への相談を必要とする事案に対応するため、県教委内に配置した弁護士による、教育行政に係る法務相談等の支援を実施します。

■ 教育全般に係る法務相談等の支援

- 学校におけるいじめ対応やハラスメント相談など教育全般に係る法務相談の実施
- 学校だけでは解決困難な事案への対応に係る法的な助言など、学校現場を訪問し、初期対応の段階から支援を実施

■ いじめ等の生徒向け及び教職員向けの研修の実施

- いじめに係る生徒向けの未然防止や教職員向けの初期対応等に関する研修の実施

4 「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進

新 生成AI搭載やまプリCBT※による学力向上支援事業

102,849千円

本県独自の「やまぐちっ子学習プリント」をCBT化し、生成AIによるサポート機能を導入することで、学校でも家庭でも、児童生徒が生成AIと対話しながら、学びを自ら推し進める力の向上と確かな学力の定着を図ります。

■ 生成AI搭載やまプリCBTの開発

○ 「やまぐちっ子学習プリント」のCBT化

[対象]

公立小中学校の児童生徒（小学校4学年から中学校3学年）

[教科]

国語、社会、算数・数学、理科、英語の5教科

[内容]

紙媒体で作成・提供してきた「やまぐちっ子学習プリント」について、CBTとして利用可能な形に整備

	従 来	導入後
媒 体	紙	デジタル
準 備	印刷	不要
課題内容	一斉配付	個別に選択
把 握	教員の目視	学習ログ
採 点	手作業	自動



CBT化

問題と正答 問2

問題
「感心」は、どのような意味で使われていますか。

あなたの答え

✕ 残念

納得している

○ 正解例

例・立派だと感じ入ること。・人の優れた行いや素晴らしい行為に対して心を動かされること。・心を動かされて、尊敬の感情を抱くこと・誰かの行動に「すごい」と思った様子

AIと相談

惜しいよ！「感心」は、立派だと感じ入ることや心に深く感じることを意味します。納得するとは少し違うんだ。どうかな？

「関心」と「感心」の違いは？

いい質問だね！
関心：興味や注意を向けること。
感心：立派だと感じ、ほめること。
この違いを覚えておくと便利だよ！

「感心」を使った例文は？

もちろん！例えば、「彼の努力には本当に感心しました。」という感じで使います。

システムによる採点と生成AIによるチャット形式でのサポート

○ 生成AIサポート機能の搭載

- ・ 生成AIが、問い返しやヒント提示を通して、児童生徒の思考を促しながら学習を支援する仕組みの構築
- ・ 即時のフィードバックを可能とする生成AIによる自動採点機能を付加
- ・ 教員が児童生徒の学習状況を把握し、きめ細かな学習支援を実施するための学習ログ分析機能等を付加

■ 教職員対象の研修等による活用の促進

○ 導入初期における活用支援

- ・ 操作方法についての説明会の実施
- ・ 学校での活用促進に向けた研修の実施



「やまプリCBT」に取り組む生徒（R6実証時）

※CBT(Computer Based Testing)：コンピュータ上で実施する試験や調査等

生成A I ・ 学習アシスタントアプリの県域共同利用が行える体制を構築することにより、個に応じた学習支援を充実させ、家庭における「学び」と学校における「学び」の好循環を創出し、子どもの「主体的に学習に取り組む態度」「思考力・判断力・表現力」の育成を図ります。

■ 生成A I を活用した家庭学習の支援

- 令和6年度のモデル校での実証及び令和7年度の全県での運用の成果と課題を踏まえ、生成A I ・ 学習アシスタントアプリの県域共同利用が行える体制を構築

[アプリの特徴]

- ・ 直接答えを教えないプログラムを基本とし、個々の生徒のニーズや学習活動の目的に合わせた動作が可能
- ・ 生徒が自分で考え、課題の解決に向かうサポートを行える設計

生成A I ・ 学習アシスタントアプリ

～「問い」を軸にした「対話」で「考える力」を伸ばす～

<アプリの特徴>

- 直接答えを返さずに学習をサポートすることで、思考を深めたり広げたりする。
- 指示に応じて細かなアドバイスや解説等もくれる。
- 不適切な「質問」等には回答しない。



生成A I が個々の状況に応じて学習をアシスト

<活用例>

- ・ 問題を入力して（画像に読み取って）質問する
- ・ 作文などの添削を頼む
- ・ 英会話の相手や英文の添削を頼む
- ・ 調べ学習の内容や調べ方を質問する



■ 生成A I の利活用に関する研修会等の実施

- 導入するアプリについての操作説明会を開催
- 生成A I 利活用にあたっての留意事項の共有や効果的な活用方法の習得を行う教員対象の研修会を開催

[研修内容]

- ・ 生成A I の特性の理解
- ・ 生成A I を利活用した学習活動の工夫について
- ・ 生成A I やインターネット上での情報の取扱いやセキュリティ対策について
- ・ 児童生徒の情報活用能力（情報モラル含む）の育成
- クラウドで年間を通じて情報共有を行うことのできる体制を構築
- 各市町における生成A I の学習での利活用についてのサポート

山口県公立学校情報機器整備基金積立金

義務教育段階における1人1台タブレット端末等の更新を計画的に進めるため、国の補助金を原資に造成した基金を効率的に運用します。

■ 義務教育段階における1人1台タブレット端末等の更新（国補助制度）

[事業期間] 令和5年度～令和10年度

[補助対象] 小・中学校段階（特別支援学校を含む。）

区 分	補助基準額	補 助 率
1人1台タブレット端末	5.5万円/台	国2/3、設置者1/3
入出力支援装置	定額補助	国10/10

デジタルを活用してリアルな学びを充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進を図るため、デジタル人材の育成や教員のICT活用指導力の向上などに取り組みます。

■ ICT支援員の派遣

- 教職員の日常的なICTの活用をサポートするICT支援員を配置し、学校へ定期的に派遣

■ 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置

- 学校におけるICT環境を効果的に活用した教育活動を支援するため、県及び市町等により、GIGAスクール運営支援センターを共同設置
 - ・ 家庭や教職員から電話やオンライン等で問合せを受け付けるヘルプデスクを設置
 - ※ 令和8年度からの県立高校等の1人1台タブレット端末の保護者負担への移行にあたり、端末の設定や操作等についての生徒・保護者からの問い合わせにも対応
 - ・ 教職員やICT支援員に対する研修の実施
 - ・ 端末の故障対応や運用管理、年次更新等を支援

新 若年層向けシビックテックコミュニティの運営

- デジタル関連の最新情報やデジタルで解決すべき社会課題テーマ、キャリア支援につながる情報を提供・共有する高校生等を対象としたシビックテックコミュニティを創設・運営
- デジタル関連のイベントや高度AI人材育成のためのセミナー等を開催
- 地域のデジタル人材や過去の教育ICT関連事業の参加者等の協力のもと、参加した高校生の伴走支援を実施するとともに、憧れの好循環を創出
- コンテスト形式による成果報告会を開催



■ 教育ダッシュボードやクラウド型採点システムの運用

- 学習の記録や出欠の記録等の様々な教育データを集約・可視化する教育ダッシュボードの運用
- 定期考査等の採点・集計業務のデジタル化による採点時間の短縮と、採点結果を分析し生徒の学習指導の充実を可能にするクラウド型採点システムの運用

■ 1人1台タブレット端末の更新に係る市町への支援

- 「山口県公立学校情報機器整備基金」を活用し、市町へ補助金を交付するとともに複数市町での共同調達を支援することで、市町における1人1台タブレット端末の計画的な更新を推進

《令和8年度更新予定》

対象市町数	更新対象台数
13	約55,000台（予備機分含む。）

高校段階におけるデジタル等の成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する教育活動の充実などデジタル人材育成に向けた環境整備を推進します。

■ 高校等のデジタル人材育成環境の整備

- 大学・企業等との連携による学習指導の充実
 - ・ データ分析等のノウハウや専門知識が豊富な人材を有する大学等との連携により、生徒に充実した指導を提供
 - ・ 教員の指導力の向上を図るため、専門機関等での研修を実施
- 高性能パソコンや3Dプリンタ等のICT機器等の導入

[対 象] 県立高校等（継続校：10校、新規校：4校程度）

[補 助 率] 3年目継続校 10/10（基本類型：上限300万円/校、重点類型：上限500万円/校）

2年目継続校 10/10（基本類型：上限500万円/校、重点類型：上限700万円/校）

新規校 10/10（基本類型：上限1,000万円/校）

県立高校等1人1台端末購入費支援事業

155,895千円

債務負担行為（限度額201,197千円、期間R8～R9）

県立高校等の1人1台端末の整備に係る費用を保護者負担へ移行するにあたり、端末購入費の一部を支援するとともに、低所得者世帯を対象とした支援を実施します。

■ 高校段階の1人1台端末のBYAD化

- 県立高校等の1人1台タブレット端末について、生徒一人ひとりにあつた活用を一層促進するため、令和8年度入学生からBYAD（指定された端末を個人が私費で購入し、学校及び家庭で活用）に順次移行

■ 端末購入費の支援の概要

- 全世帯向け端末購入費補助

区分	県立高校・中等教育学校（後期課程）	県立特別支援学校（高等部）
対 象	入学者全員	入学者全員
補助率	端末購入費の1/3	定額 就学奨励費(※)

※ 障害のある児童生徒が特別支援学校等で学ぶ際に、保護者等が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じ、国及び地方公共団体が補助する仕組み。

- 低所得者世帯向け端末購入費補助

区分	県立高校・中等教育学校（後期課程）	県立特別支援学校（高等部）
対 象	住民税非課税世帯等	就学奨励費における 支弁区分Ⅰの世帯
補助率	定額（保護者負担分）	定額（保護者負担分）

5 質の高い教育環境づくりの推進

教員業務支援員の配置

148,960 千円

教員の長時間勤務を是正し、学校の指導・運営体制のさらなる充実を図るため、教員の事務的業務を補助する教員業務支援員を配置する市町を支援するとともに、県立高校等に配置します。

■ 教員業務支援員の配置

[配 置]

- 教員業務支援員配置支援事業：市町立小・中学校への配置（400人）
- 教員業務支援員配置事業：県立高校等への配置（9人）

[業務内容]

印刷等業務、学習・学級事務業務、集計・データ入力等業務 等

拡 教職調整額

給与費

教員の処遇改善を図り、優れた人材を確保するため、教育職員に支給されている教職調整額の引き上げを段階的に実施します。

拡 教職調整額の引き上げ

- これまで支給されていた給与月額率の4%を令和8年から5%に改善し、以降段階的に実施
令和8年1月～ 4%→5%
令和9年1月～ 5%→6%

人づくりを支える教師確保推進事業

13,354 千円

教員志願者の著しい減少による教員不足の問題を解消していくため、教員採用試験の志願者の増加等を図り、本県の人づくりを支える教員の確保を推進します。

■ 魅力PR動画「先生になるなら“やまぐち”で！」の配信

- 現職教員インタビューによる教職の魅力ややりがい、山口県教育の魅力を分かりやすく伝える動画の配信

■ 教職に就いていない免許保有者等に向けた教職入門セミナーの実施

- 教職に就いていない免許保有者等が、教員の仕事や給与・共済制度、採用試験、臨採登録等について学ぶとともに現職教員と交流するセミナーの開催

■ 教員免許未取得者を対象とした特別選考の実施及び免許取得に係る経費の支援

- 教員採用試験において、教員免許未取得者が受験できる特別選考を実施し、特別選考合格後の教員免許取得に対する費用を補助



拡 教職員採用等選考実施費

25,997千円

本県の「求める教職員像」に示す資質能力を備えた人材の確保に向けて、教員採用候補者選考試験を着実に実施します。

拡 教員採用候補者選考試験の改善

- 「自己推薦特別選考」の新設
- 教員採用候補者選考試験受験者等への学習資料の提供
 - 先生になるなら“やまぐち”で！学びサイト「なるやまサイト」の開設
- 大学訪問及び大学生向けガイダンス等の実施
 - 県内外の大学を訪問し、本県の教員を志望する大学生を対象としたガイダンス等を実施



新 学校給食費負担軽減事業

3,199,777千円

学校給食費の保護者負担の軽減を図るため、給食を実施する公立小学校の設置者である市町及び県立特別支援学校小学部に対し、国の基準額に基づく食材費相当額の支援を実施します。

■ 市町に対する支援

- [支援対象] 給食を実施する公立小学校の設置者である市町
- [負担割合] 国 1/2、県 1/2
- [基準額] 1か月あたり 5,200円
- [支援額] 在籍児童数×基準額×11か月

■ 県立特別支援学校に対する支援

- [支援対象] 給食を実施する県立特別支援学校の小学部
- [負担割合] 国 1/2、県 1/2
- [基準額] 1か月あたり 6,200円
- [支援額] 在籍児童数×基準額×11か月



県立学校給食費に係る物価高騰差額補助事業

14,272千円

県立学校において、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食が実施されるよう、物価高騰に伴う学校給食費の高騰に対応するため、保護者負担の軽減を目的とした支援を実施します。

■ 県立学校の学校給食費の高騰に対する支援

- 令和3年度末から令和8年度末までに給食費の引上げの必要性が生じた場合に、保護者負担額が軽減されるよう、支援を実施
- [対象学校] 学校給食を実施している県立学校
県立中学校、県立中等教育学校（前期課程）、
定時制課程夜間部を置く県立高等学校、県立特別支援学校



国が示す令和8年度からの「改革実行期間」における部活動の地域展開の推進に向け、地域クラブ活動等に係る市町の取組を支援します。

■ 地域クラブ活動の活動費等に対する支援

- 休日の地域クラブ活動の実施に要する経費に係る市町への補助
 [対象経費] 人件費、諸謝金、旅費、通信運搬費、印刷製本費、会議費、備品費 等
 [対象] 市町が認定した「認定地域クラブ活動」

■ 地域展開に向けた体制整備に対する支援

- 部活動の地域展開等に向けた推進体制の整備等の実施に要する経費に係る市町への補助
 [対象経費] 人件費、諸謝金、旅費、通信運搬費、印刷製本費、会議費、備品費 等
 [対象] 市町
 [内容] コーディネーターの配置、人材バンクの設置・運用、指導者研修の実施、移動手段の確保、ポータルサイト等の開設・運用 等

■ 地域展開等の加速化に向けた実証事業に対する支援

- 平日の部活動の地域展開等について、実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を目的に行う実証事業の実施
 [対象経費] 人件費、諸謝金、旅費、通信運搬費、印刷製本費、会議費、備品費 等
 [対象] 市町
 [主な課題] ・平日の地域クラブ活動の移動手段の確保
 ・地元大学等との連携による指導・運営体制の整備
 ・指導者の資質向上のための公認資格取得促進や育成プログラムの構築
 ・多種目・多世代など地域クラブ活動における新たな価値の創出 等



《再掲》

(単位：千円)

事業名	事業費	再掲項
〔拡〕 県立高校空調整備関連事業	276,368	10
〔新〕 県立学校施設等のトイレ洋式化 (総務部一括計上)	372,000	10
〔拡〕 高校再編に係る施設整備関連事業	3,973,448	11
県立学校施設整備事業	5,741,924	11